

令和6年度「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」

「地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業」普及啓発事業

愛媛県教育委員会では、幼稚園から高等学校までの保護者・教職員及び教育支援関係者、福祉関係者、企業関係者等が一堂に集い、学校・家庭・地域が連携した県民総ぐるみによる教育支援体制づくりについて学び合うため、平成25年度から毎年「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」を開催しています。

- 1 **主題** 社会総がかりで、愛媛の子どもたちを健やかに育てよう
- 2 **日時** 令和6年8月27日（火曜日）12時30分から16時35分
- 3 **場所** 愛媛県生涯学習センター・えひめ青少年ふれあいセンター
- 4 **参加者** 381人
- 5 **内容**
 - (1) **講演**
 テーマ：ひとづくり・つながりづくりで 学校が変わる！地域が変わる！
 講師：特定非営利活動法人おむすび理事長 大畑 伸幸氏
 - (2) **分科会等**



分科会等	研究テーマ
第1分科会	【地域学校協働活動】 幅広い地域住民の参画により、学校と地域が連携して子どもたちを育てる体制づくりをどのように進めるか <発表1> 東温市立北吉井小学校 教諭 伊藤 芽久美 <発表2> 愛媛県立北宇和高等学校三間分校地域情報ビジネス部 福島 奏子 和田 恋羽 今治明德短期大学 猿谷 めぐみ 教諭 山本 潤也 <指導助言> 一般社団法人コムスクえひめ 代表理事 西村 久仁夫
第2分科会	【子どもの居場所づくり】 全ての子ども・若者が安心して過ごせる地域の居場所づくりをどのように進めるか <発表1> 別宮地域食堂「あさかぜKAMAN」 チームさゆり代表 渡辺 小百合 チームさゆり監事 山川 博一 <発表2> 川之石地区交流拠点施設みなせ 施設長兼川之石地区公民館長 菊池 敏和 <指導助言> 特定非営利活動法人おむすび 理事長 大畑 伸幸
第3分科会	【子育て・家庭教育支援】 保護者と子どもを支え育む子育て・家庭教育支援の体制づくりをどのように進めるか <発表> 愛顔のトーク&わーく応援プログラム集 愛媛県教育委員会社会教育課 <指導助言> 愛媛大学大学院教育学研究科 特定教授 中尾 茂樹
第4分科会	【地域教育の担い手づくり】 子どもと地域をつなぎ、地域の学びを豊かにする人材の育成をどのように進めるか <発表1> 双海町こども教室実行委員会等 地域教育プロデューサー 本多 正彦 <発表2> えひめ地域コーディネーター・ネットワーク 大洲市地域コーディネーター 福本 政代 東温市地域コーディネーター 酒井 あい
模擬出前授業	【えひめ学校・地域教育サポーターの活用】 えひめ学校・地域教育サポーターを活用して、子どもたちの豊かな学びや体験の充実を図ろう <模擬出前授業企業>株式会社伊予銀行 <ブース説明企業> 愛媛県歴史文化博物館、日本赤十字社愛媛県支部、 金融リテラシー向上コンソーシアム、公益財団法人日本漢字能力検定協会 SMBCコンシューマーファイナンス株式会社、 公益社団法人愛媛県看護協会、社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会

6 アンケート結果、参加者の感想等

【参加者の感想（講演について）】

- 「まじめにやりなさい。」「ちゃんとしなさい。」「早くしなさい。」という言葉は、問い直しななければならないと思いました。学校教育に関わる方々と共に学校の在り方についても問い直していきたいと思います。学校に余白を！子どもたちに遊びを！
- 子どもたちが思う存分、夢中になる経験づくりを意識したいと思います。
- 地元で安心して帰ってくるができる、世代を超えた関係づくりに感銘を受けました。
- 子どもたちを真ん中に学校・地域・家庭を考えることが大切だと思いました。子どもたちが自然と関わるができる・つながり合える地域づくりをしていくことが大切だと感じました。



講師の大畑 伸幸 氏



具体的な事例をもとに話していただきました。



【参加者の感想（分科会について）】

- コミュニティ・スクールの導入に向けて、よいヒントを得ることができました。子どもが、育ったまちのことを誇りに思えるように自身の計画を見直していきたいと思います。
- 地域に興味をもつ子どもを育てていくことが重要です。地域の子どもたちを地域で育てることが、次の世代に地域をつなぐ確かな方法だと感じました。
- 地域や世代を超えた人々のつながりをつくっていくことが重要であると感じました。自分が住んでいる地域のイベントに積極的に参加しようと思います。
- 中学生や高校生が主体となり、企画・運営するイベントを行いたいと思います。イベントの成功体験によって、子どもたちが自信をもつだけでなく、地域への愛着が更に高まると思います。



事例発表の様子



グループ協議の様子



【参加者からの提言】

- 子どもたちが健やかに育つには、失敗や挫折の経験も重要だと感じています。失敗を許したり、適切なアドバイスをしたりする姿勢を大人が見せることが大切ではないでしょうか。「子ども」としてではなく、「一人の人」として相対できる社会の実現を求め、その一員でありたいと思います。
- キャリア教育を愛媛県全体で取り組み、大人も子どもも自分の人生を創造することについて意識啓発し、自己概念を形成する過程を大切にする教育の提供をしていくことが大切だと思います。
- 大人が子どものために教えるのではなく、子どもと共に学ぶかというスタンスが大切だということに改めて気付かされました。子どもの「やりたい」を邪魔しない大人の姿、とにかく「楽しんで」活動している大人の姿が結果的に子どもを育てることになると思います。

7 今後に向けて

今年度は、講演と分科会等を通して、社会総がかりで愛媛の子どもたちを育むための方向性を探りました。新たな取組として、えひめ学校・地域教育サポーターによる模擬出前授業やブース説明を行いました。子どもたちの豊かな学びや体験の機会づくりに資する企業の取組に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

アンケート結果では、講演における肯定的意見が99.5%となりました。分科会等においても、肯定的意見が98.5%とどちらも非常に高い評価を得ることができました。

今年度のアンケートや反省をもとに、来年度の講演講師や分科会等のテーマを設定し、学校・家庭・地域の連携・協働について、社会総がかりで考えていく「集い」にしたいと考えておりますので、令和7年度も御期待ください。皆様の多くの参加をお待ちしています。

なお、これまでの「集い」のダイジェストや今後のお知らせ等は、県教育委員会社会教育課のウェブサイトに掲載しています。

[URL]

<https://ehime-c.esnet.ed.jp/shougai/tsudoi/tsudoi-top.htm>

